令和7年10月12日執行

安曇野市選挙管理委員会

安墨野市議会議員一般選挙公報

安曇野市条例の規定により、この選挙公報は、候補者から申請された原稿を原文のまま掲載したものです。

安曇野の未来にあなたの声を

投票日

10月12日(E)

大事な投票、忘れずに!



期日前投票

仕事や旅行などの理由で、投票当日に投票できない方は、10月11日(土)まで期日前投票ができます。

〈期日前投票の時間〉

午前8時30分から午後8時まで

〈期日前投票所〉

- 安曇野市役所 1階 東ロビー
- 穂 高 支 所 1階 会議室
- ●三郷公民館 1階 講堂
- 堀 金 支 所 1階 市民活動室
- ●明科支所2階会議室3
- ●市内どこの期日前投票所でも投票できます。

頑張りすぎない介護の実現 子育てしやすい安曇野へ

みんなに寄りそうやさしいまち

成長戦略



まちづくり」 ▶ 原 拓也 安曇野市穂高柏原在住

□ 安曇野市立明北小学校・安曇野市立明科中学校・長野県立明科高校(5期生) 中部リハビリテーション専門学校(理学療法士取得) 中部リハビリテーション専門学校(理学療法士取得)独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構(保健衛生学士取得)神戸大学大学院医学系研究科博士前期課程(保健学博士取得)神戸大学大学院医学系研究科博士後期課程(保健学博士取得)(元)安曇野赤十学病院勤務(リハビリテーション科) 神戸大学大学院医学系研究科博士後期課程(保健学博士取得) (元)居宅介護支援事業所勤務(ケアマネジャー事業所)



地域開発における住民参加 也域開発や活性化の課題を自分事として捉えられるよう、住民が参加できる場をつくる

防災や子育て、福祉などの観点から、互いに助け合い、だれもが安心して住み続けることが

・人口減など様々な地域課題の解決 福祉の経験を活かして様々な世代の人たちをつなぐ接点となり、地域課題への解決へ導く

、暮らしの不安を これからも 愛兀みなさんとともに

『学校給食無料化/安心安全の給食 力あわせ **返済不要の奨学金**を市独自で

給料 UP へ市がサポート 中小企業で働

最**賃 1500 円以上**に 5%引き上げ **■「あづみん」**の充実。市内**一律 300 円**に | **国保税の大幅引き下げ**、子どもは無料に

■ 介護保険料の引き下げ

基満回 財源は毎年11億円の黒字決算 市民とともに声をあげ続けます ■ 会談 アンケートありがとうございました

日本共産党

+ = += >

1

市民の

重ねる経験

変わらぬ初心

汁を流します。

安曇野の未来を託す

· 松本工業高等学校卒業

事務所勤務(労組派遣)

安曇野市議会副議長

やさしい癒しの安曇野を!

年齢や性別・障がいの有無に関わらず

支え合いにより日々

安心して暮らせる安曇野を

r若者が戻るまちづくり

★農業の未来を守る

東京園と同水準の魅力ある職場づくり

安曇野の基幹産業である農業の担い手不足

に対して、若手農業者の育成支援や、収益性

の高い農産物ブランド確立を目指す支援。

★空き家3000件を真剣にとらえ、

跡継ぎ問題の解決のための施策研究、提案を

届けて、反映します!!

資源を生かした安曇野づくり

『産業振興』と『観光推進』

地域の交流促進と伝統継承

『地域世代間交流』と『地域文化の継承』

『バリアフリー』と『終末医療』

未来を叶える体制づくり

『婚活支援』と『安心子育て』

農業を守り育てる

↑昭和45年2月:豊科町本村にて生誕(55歳)∼昭和63年:松本蟻ケ崎高等学校卒業

| 歴 | アルピコHD(株)等グループ各社に勤務~平成28年:21年勤めたアルピコグループを退職。

~現在:「ファーマー東家」代表 認定農家として農業にいそしむ

愛し 愛される安曇野!

公式ホームページ https://kobahiro.com

今も 100年先も

充実人生が送れる環境構

跡継ぎがないことが空家の原因。

地域の声を聴いて、

48歳 名古屋生まれ 安曇野愛が高じて豊科へ 金城学院 大学家政学部児童学科卒 作業療法士資格取得 保育・ 障がい児支援を経てR2年より地域おこし協力隊として 3年5カ月活動 小学生と高校生の子育て真っ最中! profile 常に身近で!



松本筑摩高等学校社会人 聴講生(夜間)終了 明科高等学校PTA副会長 安曇野交通安全協会顧問 犀川漁業組合専務理事 · 国民民主党長野県連副代表

民主党 みん 国民民主党公認 ↓ ひたむきに市民(地元)の声、すべての ・ 働く仲間の声に汗を流してきました。 子どもたちの未来のために

ン, 地域コミュニティ! 自治会支援強化で、より安心安全に! 1967年(昭和42年)安曇野市豊科生れ(飯田区) 👹 🔲 🐯 🔲 豊科南小学校→豊科中学校→ 松本県ヶ丘高校→同志社大学法学部





まっすぐ安曇野に全力!

子育で・教育

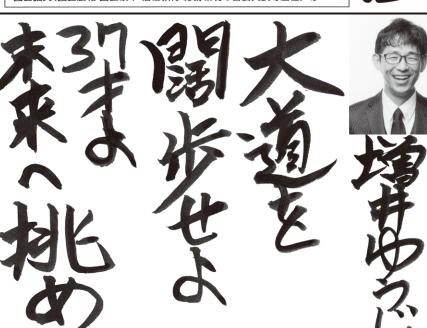
安曇野で生きる・安曇野を生かす

○待機高齢者ゼロ○患者と家族に寄り添った医療療養介護の 実現○障がい児・者支援○乗合タクシー「あづみん」の充実 など

○多文化共生の促進○大学キャンパスの誘致○待機児童ゼロ ○ 児童クラブの拡充 ○ カウンセリング・早期療育の充実 など

○自然を守りながらの発展○体験型・滞在型の観光産業

○農林水産業や地場産業の振興○地域の絆づくりと防災 など 林 孝 彦プロフィール ホームページ: http://takahikohayashi.net ○昭和30年8月3日 旧豊科町生まれ○松本県ヶ丘高・立教大法学部卒業○筑 修了○元(財団)都市経済研究所研究員○元米国ハーバード大・米国マサ チューセッツ工科大・米国ミシガン大・AKP同志社留学生センター・(国立)豊橋技術科学大等教員○元安曇野市松本市行政事務組合議会議長○現安曇野市 議会議員(議会広報・議会改革・福祉教育・総務環境の各委員長等歴任)等





ひとりひとりの声を聞き、議会に届けます 住んでいる人たちの声が反映された、信頼感のある地域に 子どもとの暮らしを楽しめる地域に

さまざまな子育ての形を支える制度をめざします

・利用者が孤立せず、支援する側も守られる体制を 年齢を重ねても安心して暮らせるまちへ よりよい医療や福祉をめざして、現場の声も受けとめます 移動、農地や山、住まいなどの不安を軽減し、多世代交流の促進を

自然を守り、つなぐ 里山や農地整備の協力者を増やし、環境を守ります 地下水、湧水、農地、山林など大切な環境の現状を見えるように

Profile 安曇野市穂高矢原在住 4世代家族8人暮らし 松本県ヶ丘高等学校英語科 卒業 ▶ 広島大学教育学部 卒業



1)移動手段を抜本的に変える ②あづみの子育てモデルの充実化 3農業モデルを変える

④企業誘致とスタートアップ・ベンチャー支援 5 鳥獣対策のあり方の見直し ⑥アーティストが集まり国内外から注目される街に ⑦高齢者・障がい者に選ばれる **⑧移住してきてやっぱり安曇野**

田口さだおのプロフィール対外活動(歴任) 1961 年生まれ 東京理科大学大学院修了 電気設備学会本部理事、 技術経営専攻 (MOT) 電力・環境・情報エネルギー系民間会社 大阪府建築家協同組合理事、 °ライム上場(株)きんでん元役員 技術士(電気電子部門) 趣味:油絵、ウォーキング、旅行 電設技術(業界紙)編集委員

参政党 安曇野を守る!

自信にあふれた

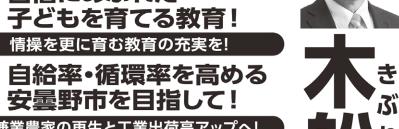
子どもを育てる教育

情操を更に育む教育の充実を!

支え合い、学び合う

同関西支部理事、 日本建築協会 評議員、 日本電設工業協会 経営企画委員、





△9 安曇野市を目指して! 兼業農家の再生と工業出荷高アップへ!

> プロフィール 1962年(昭和37年)豊科生まれ 日本工学院専門学校放送制作芸術科卒業 元あづみ農業協同組合西穂高支所長 公明党安曇野支部副支部長,堀金在住



・墨野の自然を活かした学び、安定した保育環境、安全な学 パが過ごしやすい環境や全天候型遊び場の整備、不登校

災害に強いまちづくりは、住民の命を守る最重要課題です。 ご高齢の方や障がい者など誰もが安心できる避難所の環境整 、ペット同行避難、消防団の待遇改善などに取り組みます。 誰もが暮らしやすいまちを目指します。 新たな雇用を生む企業誘致や起業支援、移住・定住促進に がたる作品で主も上来の外でと来る。ないでは、 も注力。 地域経済を活性化させます。 安曇野ブランドを活か した農業支援や観光施策にも取り組みます。

消防団員の待遇改善、ジモティーとの連携、県内初のピンクシャツデー の取り組み(いじめ反対のアクション)、市役所でのカスハラ・防犯対策、 児童クラブ利用における祖父母要件の緩和 類 新田中交差点・南豊科駅前の安全性向上、家庭ゴミの出し方問題、 推 次世代を見据えた広域観光連携、新たな市外PR策、子どもの吃音早期 発見、市役所BCPの改訂等災害時対応

住民と行政が支えあう

パイプ役として働きます

「安曇野市」を目指して

● 高齢者も若者も安心して暮らせる

● 自然と調和した産業の活性化を進

● 住民と行政の協働によるまちづくり

● 教育・文化の育成と充実に努めます

いつまでも元気な安曇野へ

より安心区、より活発区、より楽しく

・地方の声を国政に届け、支援を実現する ・農業従事者や関係団体の連携強化

1956年(昭和31年)1月4日生まれ。1974月3月 長野県立大町(現岳陽)高等学校

ア)入社。鮮魚担当に配属となり鮮魚バイヤーとして働く。大町店・穂高店・豊科店

若者に選ばれるまちへ。 高齢者にやさしいまちへ。

店長として勤務後退社。(現) 食品卸・販売業の株式会社ノーストーン 代表取締役

子育て・結婚の地域支援で人口増加へ

ホームページ ▶https://okamura-noriaki.com

●子ども食堂の開催支援で安心して子育てできる街へ

●「近所のおせっかいプロジェクト」で若者の結婚を後押し

●ゴミステーションの増設で「遠すぎるごみ出し問題」を解消

●高齢者の買い物支援や医療機関への送迎サービスを推進

●大学を誘致し、若者が学び・暮らせる街へ

●移住・定住を促進し、人口増加につなげる

首都圏へのアクセス改善 🕮

●首都圏通勤圏への一歩前進、陸の孤島化を解消

産業振興を財源に物価高への対策を

●ふるさと納税の返礼品を厳選し、市の収入増へ

☆ 4 つのお約束☆

. 何歳になっても安心して住める安曇野へ

5歳児健診実現,発達障がいを抱えた方への就労支援や

居場所づくり,若者の声を市政に反映させる仕組みづく

3.安心して出産・子育てができる安曇野へ

不妊治療設備・無痛分娩施設の充実,産後ドゥーラの設置

4. 魅力・潜在力で発展し続ける安曇野へ

生産者 消費者双方の視点に立った永続的な農業振興

子ども医療費窓口無料化,産後ケア事業の実現、帯状疱疹予防

接種における 50 歳以上の費用助成, 奨学金返還支援事業補助

防犯カメラ増設,高齢者ケアの拡充,防災対策の強化

2. 未来の世代が希望を持てる安曇野へ

●企業誘致で雇用を生み出し法人税収アップ

●市独自のプレミアム商品券を定期発行

公明党安曇野市議 主な実績

●ゴミ袋の価格を適正化

●特急あずさの高速化を国・県に要請

農業への取り組み

●農業従事者へ市独自の支援を強化

高齢者にやさしい環境 外か

市の黒字財政を活用した全世帯支援・水を多く使う工場誘致は慎重に対応

2 子ども・高齢者支援

グルメロードの活性化

•子ども食堂・フードパントリーの支援

4 安曇野インター周辺の活性化

・歩行者や自転車の安全対策の継続

インター周辺の道路・水路の維持管理

6 自然と農を守るSDGsの推進

•高齢者のサロン活動等の支援

● 保健・福祉の充実に努めます

地域づくりを進めます

を進めます

未来に向けて

⋒ 減災・防災対策

・地域の危機管理体制のサポート

災害発生時の情報共有体制の強化

③ 芸術・文化・スポーツの振興

●0~2歳児の保育料を全額免除 ●出産費用を市で全額補助

細萱保育園、豊科北小、豊村北中、124年20年12 中京学院大学経営学部、中央大学大学院(公共政策 1972年2012年12日 1972年2012年12日 1972年12日 1972年 小中では不登校を経験。 r地元郵便局や日本赤十字社、民間勤務を経て、

令和3年10月に安曇野市議会議員初当選。 安曇野市消防団第2分団所属(11年目)



志

信



議会の先例見直し(無所属議員も委員会等へ参加が可能に)に尽力しました。

- 4期目に望三郎が取り組むこと

学校教育の充実と多様な学び場づくり 子どもたちに豊かな体験を/子どもの権利の理念啓発 地下水と農村環境を守る/北小倉の廃棄物処理施設の撤退/ 脱炭素化とエネルギーの地産地消で地域経済循環

移住促進と空家活用の相乗施策/安曇野市を世界農業遺産に! ○議会の活性化 議会活動をSNS発信で見える化/

大分県出身56才、安曇野移住22年目、三郷小倉在住。

高校生と議会の交流による主権者教育

まちづくり会社など、多様な実践をする現在3期目の議員。 安曇野の美しい自然を大切にし **「活力ある地域の進展」**をめざし

住民皆さんと行政の協働で築くまちづくり ◉活力あるバランスのとれた新しいまちづくり

●やさしさのあるいきいきと暮らせる地域 福祉の充実

◉教育・文化・スポーツの向上と安心・安全 なまちづくり 舌力ある地域の進展をめざして皆さんと共に迅速な行動

●松本工業高等学校同窓会長●安曇野市議会前議長

で全力を尽くします。

●穂高広域施設組合前議長 ●長野県後期高齢者医療広域連合議員前監査委員 ●松本広域連合議会議員消防委員会副委員長前監査委員

■松塩筑木曽老人福祉施設組合議会議員議会運営委員

1.観光に賑わいを! 2.経済に活性を!

3.スポーツで健康を!

ろつの柱で 人が集い、育ち、輝く安曇野へ

市民全員参加による市政の実現を!

有害鳥獣対策の強化 スポーツ観光の推進 地域経済の発展・観光・DX推進 【 インフラ整備

高齢者の安心 【 移住、定住施策 1977 年安曇野市穂高有明生まれ。(48) 中京大学附属中京高校卒業後、中京大学心理学 部を経て、会社員や有限会社山のたこ平代表取締役を務め、2021 年より安曇野市議会

総務環境委員会、議会運営委員会副委員長を務める。安曇野神竹灯や花火実行書 員会、松本山雅後援会安曇野支部顧問など地域活動に積極的に参加。趣味はサッカー、 | モルック、ゴルフ、スポーツ観戦、温泉巡り。地域経済と観光振興に取り組む。

いま、困っている人のため 力になりたい

税金は暮らしを支えるために。 誰もが輝く街へ全力でがんばります。

「あずみん・のるーと」で子育てタクシー運行。

農地の集約、継承。安曇野を守る。

で解決できます。

荷物が多い子育ての外出。子どもだけの通園・通学。家人 が留守中の陣痛。夜間の子どもの発熱。すべて子育てタクシー

防災や景観保全の機能を持つ農地。耕作者の高齢化、鳥獣

被害の広がりで危機に瀕す。地域農業経営基盤強化促進計画をブラッシュアップし続けなければ、10年後に農地が消える。

進学は県外でも、就職は地元を当たり前に。

子どもたちが、早くから地域の産業と経済を学んでいれば、

るようになる。将来の安曇野市を背負う人材の育成は急務。

也元企業への就職や、故郷での起業を選択肢として考えられ

アンケート 界を建り ありがとうございました。 もっとお寄せ下さい。 およれ

人口減少に抗い、未来を築く そのために、いまできること

史上最大のワクチン被害

接種に係る被害状況を明確にしたうえで**市に対しては、検証と総括、** そして被害者への継続的な支援を求めていきます。

「予防接種健康被害救済制度」に関して、



高

橋

TAKAHASHI_KEN2025

0

▲あなたの[声]を聞いて届ける行動力



何歳になっても安心して住める安曇野へ

働き盛り世代 そして

子育で世代の目線で

私が目指す安曇野市

社会基盤の整備は、安心・安全を最優先して着実に!

③ 次世代を担う人と企業に積極投資して地域経済を活性化!

・通学路には子どもたちが安心して通える安全対策を

・食生活を支える農業を今こそしっかりと支えます

・農業を守ることで安曇野の美しい風景を守ります

豊科田沢出身(兼業農家)、豊科北中(剣道部)

徳治郎伊勢宮氏子総代会長を務める。

家族: 妻、子ども(高校生2人)、父、母

子育て世帯への更なる支援

小規模農家へのフォロー不足解消

担い手の育成/定着支援の拡充

スマート農業/ ICT の導入支援

環境と収益性の両立支援強化

介護福祉の更なる充実化

需給ギャップと将来負荷の増大

包括的な終末期/リビングウィル

介護人材の確保と職場改善

事故防止と安全管理の強化

地域共生の取り組みの深化

プロフィール

松本市役所を退職

保育/預け先の拡充

経済支援の更なる拡充

・市民の皆さんや地元企業の新たな挑戦をバックアップ ・チャレンジの舞台に安曇野を選ぶ人や企業を増やします

松本深志高校(45回生·応援団長)、中央大学法学部卒業

市消防団第5分団副分団長、徳治郎区子ども会育成会長

令和7年3月、地元安曇野のために働きたいとの思いから

・地域で見守り/交流の推進

所得の低迷対策と価格変動への緩衝 芸能事務所所属。

・「自然×子育て」の魅力発信

だ

望

5

谷

(8)

武作

私たちの生活を支える道路の補修や渋滞対策は着実に

②農業後継者の育成強化と農業生産力の向上!

未来の世代が希望を持てる安曇野へ 5歳児健診実現,子どもの相談窓口設置

<u>若者が市政に相談したり意見が言えるシステムの実現</u>

魅力・潜在力で発展し続ける安曇野へ

公明党安曇野市議 主な実績 子ども医療費窓口無料化,産後ケア事業の実現,帯状疱疹予防

妾種における 50 歳以上の費用助成, 奨学金返還支援事業補助

松本短期大学幼児教育学科卒業 資格:防災士,保育士,幼稚園教諭 安曇野市議会議員3期,穂高柏原在住

祉施設にて就業中。

会 修了。

挙に出馬し惜敗。

人にやさしい 活気あふれる

住んで良かった 住み続けたい 安曇野に! 皆さまのお声(要望等)を聞き 今までの経験を生かして働きます。 ☆ 安曇野市(旧三郷村)温上長尾 生まれ

<中村芳朗のお約束>

●人にやさしいまちづくり(高齢者・障がい者・子育て支援) ●住み良い環境づくり(災害の無い安全安心のまちづくり) ●産業(農業・商工業・サービス業)の活性化・振興支援

●道路・通学路・農業用水路など身近な施設の点検整備 ●スポーツの振興 ・ スポーツ施設の充実(子供たちから

現役選手の支援・ 高齢者の生涯スポーツで健康長寿) ●安曇野の伝統文化の継承支援

<現在の役職>南安曇農業高校 同窓会 副会長 南安曇農業高校 野球部 OB会長

大きな健康被害を生んでいる新型コロナワクチン接種! 被害者支援に取り組みます!



【新型コロナワクチン】日本全国で死亡認定1,000名超!※ 「死亡認定1,000名超」は、厚生労働省公表「予防接種健康被害救済制度」による死亡認定数

わが国で、2021(令和3)年から始まった新型コロナワクチン接種は世界はもとより

新型コロナワクチン接種が重大な健康被害を生んでいることに鑑み、ワクチン 接種後の健康被害に係る救済制度である

その周知及び啓発に取り組むとともに被害者支援に資する 市独自の支援制度創設を目指します。

1978 (昭和53)年生まれ、安曇野市(旧穂高町)出身。松本深志高校卒、信州大学大学院修了。 安曇野市職員として、福祉・農政・環境・企画など、さまざまな部署を経験。民間シンクタンクへの







50歳



南安曇農業高校卒業 トンダテクニカルカレッジ卒業 CM、NHK時代劇、舞台など 、自動車整備士として働く 現在は、安曇野市の介護福 安曇野市ファミリーサポート センター協力会員養成講習 令和5年長野県議会議員選

















